

大学院生、学部生、短期大学生の皆さんへ

授業時間（105分）、1限授業開始時間（9時15分）についての意識調査 － 調査結果と今後の方針 －

先般、9月30日から10月7日の期間で実施した【授業時間等に関する意識調査】については、800（坂戸キャンパス約750、東京紀尾井町キャンパス約250）余りの回答が集まりました。学長室、教務部を中心に内容を確認し、学生のための大学にするべく検証・検討を続けております。

今回、特に私が気になったのは、105分授業にしたことで『授業中の集中力が途切れしまわないか？』、また、9時15分開始にしたことで『通学電車の混雑により、電車に乗り切れなかったり、通学が困難になっていないか？』、さらに東京紀尾井町キャンパスでは『9時5分開始とした場合について、長距離通学の学生にとっては厳しくないか？』ということでした。

まず「105分授業」にした理由ですが、1）授業での学修時間を確保した上で、授業期間を15週から13週に短縮することで、正課外での活動が積極的に行える環境を整えたかったことと、2）今でも、集中力が継続できるとされる90分授業を採用している大学が多いですが、講義を中心とした知識習得型の授業から、講義と演習、実習、実技などを組み合わせた、アクティブラーニング型の授業を展開しやすくするには105分ぐらいあった方がよいと考えたのでした。

城西大学の建学の精神は「学問による人間形成」です。創立60年を経て、新たな本学の学びとして「協創力」のある人間を育てることを提案し、協創力体験演習という授業も今年度から行っています。この科目などは105分授業に相応しいと思っています。

さて、今回のアンケート結果も含め、授業改善等を検討しております。具体的には、集中力を途切れさせないための工夫として、授業は前半、後半に分け、講義と演習等を組み合わせた授業展開を基本形態とし、多くの科目で取り入れられるよう検討をしていきます。

また、その切り替えのタイミングを“音”で知らせるなどの工夫も考えられます。

1時限目の開始時刻に関しては、特に1、2年生は9時15分開始にあまり抵抗感はないようで安心しました。ただ、一限には必修科目を可能な限り設定しないことも考えています。他にも、改善策はたくさん考えられます。皆さんが、これらの改革を実感できる形であらわしていきたいと思っております。

今後も、皆様のご意見をお聞きしながら、教育のさらなる向上を目指していきたいと思っております。

2024年12月9日 城西大学・城西短期大学 学長 藤野陽三